

報道関係者各位

2015 年 6 月 5 日

聖心女子大学

認定 NPO 法人 難民支援協会

「難民の故郷の味」を学食に

—Meal for Refugees 6 月 22 日からスタート—

聖心女子大学(東京都渋谷区、学長:岡崎淑子)は、認定 NPO 法人難民支援協会(東京都新宿区、代表理事:石川えり)と協働し、難民の故郷の味を学食で伝えるプロジェクト“Meal for Refugees(M4R)”を開催します。M4R は、難民支援協会が日本で暮らす難民と共に作ったレシピ本「海を渡った故郷の味」から生まれた社会貢献プロジェクト。食べることを通じて難民を知り、1 食 20 円を寄付として難民を支える取り組みです。今回、聖心女子大学の難民支援学生団体 SHRET(シュレット)の学生が中心に取り組み、実現することになりました。



聖心女子大学SHRETメンバー

SHRETにとって、M4R は、日本国内に逃れてきた難民をテーマにした、初の本格的なプロジェクトです。SHRET メンバーの学生が以前から他大学の難民支援学生団体と交流する中で、M4R に関わる学生メンバーと出会い、導入に向けて、メンバー内で議論がはじまりました。

SHRET の 14 期代表、古川幹子さん(日本語日本文学科3年)は、「M4R の話を聞いたときから、必ず自分たちの大学でもやりたいと、強く意志を固めていました。聖心女子大学では初めての試みですので、身の引き締まる思いです。これまでは、対外的に難民を伝える活動が多かったので、今回は、学食を舞台に、学内向けに難民を伝えることができる事業。まさに、今の私たちだからできることです。すでに取り組んでいる他大学の M4R メンバーとも協力しながら、有意義なプロジェクトにしたいと思います」と意気込みを語っています。導入期間は、6 月 22 日から 27 日。料理の提供に加え、認知啓発のための情報発信も同時に行います。



バングラディッシュのエッグカレー
6/22から学食にて提供予定

また、M4R は、6 月 20 日の世界難民の日に向けて、聖心女子大学のほか、関東・関西の大学合わせて 6 大学にて開催されます。詳細はこちらをご覧ください。

<https://www.refugee.or.jp/jar/release/>

▼提供メニューとスケジュール

期 間 | 6 月 22 日(月)~27 日(土)

場 所 | 聖心女子大学 学生食堂

メニュー | 22 日(月)『鶏肉とじゃが芋のスパイス炒め』、『バングラディッシュのエッグカレー』

23 日(火)『サトイモのさっぱり煮』、『牛挽肉のスパイシー炒め』

24 日(水)『鶏肉と野菜のスパイシー炒め』、『鮭のスイートバジル和え』

25 日(木)『トマトソースの肉じゃが』、『アジと野菜の炒め さつま芋添え』

26 日(金)『鶏肉と小松菜のカレー』、『トマト味のピリ辛蒸魚』

27 日(土)『トマトソースの肉じゃが』、『鮭のスイートバジル和え』

以上

(参考情報)

▼M4Rの公式フェイスブック

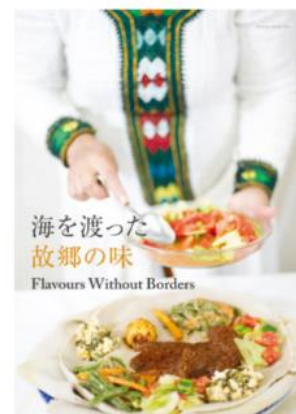
各大学の取り組み状況を随時発信しています。

www.facebook.com/mealforrefugee

▼レシピ本「海を渡った故郷の味」について

レシピの紹介や作り手である難民のストーリーを書籍から抜粋して掲載しています。
オンラインでの購入も可能です。

www.flavours-without-borders.jp



レシピ本
「海を渡った故郷の味」

■本件に関するお問い合わせ

聖心女子大学 企画部

〒150-8938 東京都渋谷区広尾4-3-1

Tel: 03-3407-5249 | Fax: 03-3407-6126 | kikakubu@u-sacred-heart.ac.jp

本学ウェブサイトでの本件の情報 <http://www.u-sacred-heart.ac.jp/topics/2015/150627.html>

(報道関係の皆さまへのお願い) 学生への取材のご希望は、本学の企画部を通して依頼をお願いいたします。学生への直接コンタクトはご遠慮いただいております。ご配慮をお願いいたします。

認定NPO法人難民支援協会 広報部 田中

〒160-0004 東京都新宿区四谷1-7-10 第三鹿倉ビル6階

Tel: 03-5379-6001 | Fax: 03-5379-6002 | info@refugee.or.jp

難民支援協会とは www.refugee.or.jp

日本に逃れてきた難民が、自立した生活を安心して送れるよう支援している認定NPO法人。難民申請の手続きや、日本での医食住、教育、就労などに関する支援を行うと同時に、難民受け入れに関する政策提言や、イベント「Refugee Talk」(月1回)、「難民アシスタント養成講座」(年2回)などの開催を通じた認知啓発も実施。年間の支援対象者の国籍数は約50か国、来訪/外部相談件数は約2,000件。

国連難民高等弁務官事務所(UNHCR)の事業実施契約パートナー。